

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市川名Ⅱ計画 新築工事	階数	地上11階
建設地	藤沢市川名2丁目303	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	326人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年4月8日
敷地面積	3,422㎡	作成者	株式会社ジャイロアーキテクト
建築面積	1,010㎡	確認日	2020年4月8日
延床面積	7,590㎡	確認者	株式会社ジャイロアーキテクト



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件は、境川の川沿いに位置し、向かいには奥田公園があり、緑豊かな地域に計画されている。JR藤沢駅から徒歩10分の17である。	その他 0	
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、建物の耐用性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・できるだけ多くの樹木を植栽し温熱環境や生物環境の保全に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明を導入し、省エネルギーに配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・躯体材料以外のリサイクル材は、ビニル床材及び100角(磁器)材を採用。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される